

国立音楽大学 国際マスタークラスシリーズ

国立音楽大学創立100周年記念事業

作曲公開講座

サントリーホール サマーフェスティバル 2026 テーマ作曲家

LECTURER

ルカ・フランチェスコニ

Luca Francesconi, composer

日時

2026年 8月24日 (月) 18:00開演 17:30開場

会場

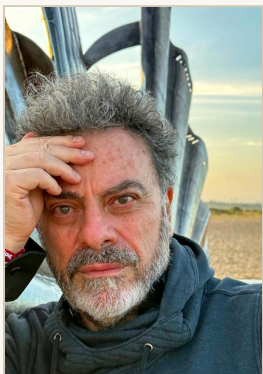
新1号館142オーケストラスタジオ

入場料

無料

通訳

森 紀明



プログラム

【講演】自作曲「ヴァイオリン、クラリネット、ピアノのための《衝動2》」を中心に

お話：ルカ・フランチェスコニ 通訳：森 紀明

【実演】ヴァイオリン、クラリネット、ピアノのための《衝動2》

Violin：坂上 ちひろ Clarinet：河野 愛美 Piano：坂上 みずき

— 講師プロフィール —

1956年ミラノ生まれ。ミラノ音楽院でアツィオ・コルギに作曲を師事。またカールハインツ・シュトックハウゼン、ルチアーノ・ベリオに作曲を師事。ボストンのバークリー音楽大学でジャズを学んだ。1981年から1984年まではルチアーノ・ベリオの助手としても活動。1988年と1990年にはダルムシュタット夏期講習に参加し、クラニヒシュタイン音楽賞を受賞した。テクノロジーへの関心は1970年代半ば以来常に強く、1990年にはミラノに新しい技術を用いた音楽制作のための音楽研究センター「AGON」を設立した。1992年以降、パリのIRCAMとの緊密かつ精力的な協働も恒常的なものとなり、彼の研究の中心となった。一方で、特にアフリカをはじめとする他の文化的伝統への関心は、時間、リズム、知覚のポリフォニックな組織化について異なる概念を探究するための、深い指針とインスピレーションとなってきた。これまでに国際的な賞を多数受賞しており、ガウデアムス賞(1984年)、グイド・ダレツツォ賞(1985年)、ダルムシュタットの奨学金賞およびクラニヒシュタイン賞(1988年、1990年)、ジューゼッペ・ヴェルディ作曲賞(1994年)、イタリア賞(1994年)、フランス・シャルル・クロス・アカデミー大賞(2008年)、アッピアーティ音楽評論家賞(2011年)、ロンドン・ロイヤル・フィルハーモニック協会賞(2015年)、リンチェイ・アカデミー・フェルトリネリ作曲賞(2018年)、パリ＝ローマ・イタリク賞(2018年)などがある。

※ 車いすで来場の方は、事前に演奏芸術センターにお問い合わせください。

※ 就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。

※ 公開講座開催に際しまして留意事項がございますので、本学公式Webサイトよりご確認ください。

※ やむを得ない事情により出演者や内容等が変更になる可能性がございますので、予めご了承ください。

※ 事前申し込みは不要ですので、直接会場にお越しください。詳細は本学公式Webサイトをご確認ください。

サントリーホール サマーフェスティバル2026
テーマ作曲家 ルカ・フランチェスコニ特設Webサイト

本学公式Webサイト